

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
放課後等デイサービス キッズすまいる		年 月 日				
チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	33%	67%	活動する際には、多目的室と活動室と場所を分け、支援している。	個別対応が必要な場面が多い。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	50%	50%		職員配置基準上は適切です。男女比率の考慮は検討事項です。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	50%	50%	バリアフリー化など、気になる段差はないが、ステップ台を準備するなど工夫している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	83%	17%	パーテーションや個室対応するなど環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%		会議で話し合うことが出来ています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%			意向を把握し、出来ることから取り組んでいます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%		毎日の打ち合わせや、会議において課題を共有し業務改善に取り組んでいます。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%		ISO認証しています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	100%		外部研修、オンライン研修など積極的に受講しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%		情報収集、分析し作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%		会議を行い、共通理解に努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%		会議を行い、共有し支援しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%		活動内容について、職員全体で話し合いの機会を持ち、立案しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%		会議で話し合った内容、評価を踏まえ、検討、実施しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%		個別活動、集団活動を設定し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%		毎日の打ち合わせを行い、その日の活動内容等確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	83%	17%	押りの打ち合わせを行い、支援の振り返り、送迎時の申し送り事項など確認しています。	早番などで打ち合わせに参加できない職員には、次の日情報共有しています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	83%	17%	日々の支援状況をケース記録、日誌へ記載することを統一しています。	記録する時間の確保が難しい時がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%			
24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	100%				
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を育むための支援を行っているか。	100%		自分の食べたいおやつや、やりたいことを発表する機会を設定している。		
26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%		児童発達支援管理責任者が出席しています。		
27	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%				
28	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	100%		学校の年間計画、月予定表をいただき、行事や下校時刻の確認をしています。送迎の際には学校の先生と情報共有しています。		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%		事前に幼稚園の様子を見に行く機会を作り、情報共有を図ることが出来ています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%		担当者と情報共有することが出来ています。情報を求められた際に提供できるよう資料作成しています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%		児童発達支援センター主催の研修会に参加しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	17%	83%		今年度はそのような機会はありませんでした。今後、機会があれば参加していきたいと考えています。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	100%			自立支援協議会主催の研修会には参加したことはありません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%		送迎時の申し送りの際や、連絡帳を活用し情報共有しています。	
	35	家族への対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%		研修案内などお知らせし、情報提供しています。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%		契約の際に、説明しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%		説明し、同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%		日々の申し送り等で家庭の様子を聞き、事業所内で情報共有し、保護者へ助言したり、自宅訪問し面談しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	83%	17%	保護者を招いてのレクリエーションを開催しました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	83%	17%	苦情解決体制は整っています。保護者からの要望等に関しては、寄り添えるよう柔軟に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%		月に1度、活動の様子等写真を掲載した広報誌を発行しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%		個人情報使用同意書にて、説明・同意を得ています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%		視覚支援等のコミュニケーションツールを用いて意思疎通の配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	17%	83%	地域住民を招待出来るほどの大きな行事は実施していませんが、地域散策、地域神社への参拝など行っています。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	83%	17%	契約の際、重要事項説明書にて説明しています。	
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%		月に1度避難訓練実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%		通院状況、服薬状況(お薬手帳)の確認、発作時の対応等保護者と連絡を密にしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	67%	33%	食物アレルギーのある児童は現在いません。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	83%	17%		家族への周知が十分とはいえない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%		K Y T研修を実施しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%		虐待防止研修、障害特性の理解を図るための研修など積極的に受講しています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%				